

基礎研修

eラーニング
&
ライブ配信

Aコース(総論)10月7日(金)~11月27日(日)

Bコース(各論)11月4日(金)~12月22日(木)

産業保健看護の基礎的理解を深め、実務を展開できるようにすることをねらいとした研修です。講師陣は、日本産業衛生学会理事及び産業看護部会幹事を中心に構成しており、最新の知見から具体的な実践まで幅広く学べます。

■内容

※詳細は3ページ参照

Aコース(総論):産業看護の歴史と展望、労働衛生行政と関連法規、産業保健計画の立て方と評価、産業と社会環境、総括管理概論、倫理、労働安全衛生マネジメントシステム、産業保健体制、情報管理、社内外の連携、健康危機管理、作業環境管理、安全リスクマネジメント、人間工学など

Bコース(各論):作業関連疾患・健康の保持増進対策・労働衛生教育・健康診断・メンタルヘルス対策・職場復帰支援・快適職場の形成・職場巡視など

■対象者 産業保健看護専門家制度の登録者

※登録者でない場合も受講可能。ただし、専門家へのステップ

アップ単位としては認められないため、ご注意ください。

専門家取得を目指している場合は、まず登録者試験に合格した上で、本研修を受講ください。

■受講料(税込み)

●日本産業衛生学会 産業看護部会員 ￥35,000(￥30,000)

●日本産業衛生学会員 ￥40,000(￥35,000)

●上記以外 ￥50,000

※受講料はA、Bコースそれぞれにかかります。

()内はA、Bコース一括受講の料金です。

■受講方法

eラーニング／Web会議ツール

利用による配信

(録画配信・ライブ配信)

・eラーニングは「学びばこ」、ライブ配信ではWeb会議ツール「Zoom」を使用します。

・「学びばこ」や「Zoom」を使用することでの費用はかかりませんが、通信にかかる費用は自己負担となります。



研修の特徴

eラーニングで、全国どこからでも参加でき、繰り返し学ぶことが可能。
五十嵐部会長の講義や実地研修はライブ配信で、講師や受講者と交流ができ、学びが深まる！

産業保健の現場や教育の場で活躍中の魅力的な講師陣。詳細は、次ページをチェック！

■ 開講式、五十嵐部会長講義、情報共有会をライブ開催！ 講師や参加者と交流し、ネットワークを広げましょう！

●日時:10月8日(土)9:00~12:40(予定)

- ・開講式
- ・講義

① 産業看護の歴史と展望 ・ 労働衛生行政と関連法規

② 産業保健計画の立て方と評価

【講師】産業看護部会長 五十嵐 千代(東京工科大学)



- ・情報共有会

受講者同士の情報交換の場です。

一緒に、産業保健看護職のネットワークを広げましょう。

是非ご参加ください！



■ 受講者の声

書籍で学ぶよりも
産業保健全般にわ
たり、エッセンスが
短時間でマスター
できるよい研修！

専門性も高く、
学術的な内容から
実践的な内容まで
網羅されており、
勉強になった。

産業看護に必要な
知識と最新の情報
や法令などが盛り
込まれた充実した
研修だった。

書籍や学会だけでは
学びにくい職場
巡回や安全リスク
マネジメント等も
学べてよかったです。

多様な講師の講義
を受講でき、オン
ラインでグループ
ワークも体験でき
有意義だった。

中堅となり一通り
出来るようになつ
たものの、不安を
感じていたので、
体系的に振り返る
良い機会になった。

自身の産業保健
活動へのモチベー
ションの維持にも
つながった。

■申込方法

●申込フォーム(以下URLまたはQRコード)よりお申込みの上、参加費をお振込みください。

<https://sangyokango-bukai-kenshukai.org/>



●申込期間

8月22日(月)~9月22日(木)

振込先: 公益社団法人日本産業衛生学会産業看護部会

ゆうちょ銀行 ★店名 四二八 ★店番428 ★預金種目普通 ★口座番号 0535337

※申込み、参加費の振込みをもって受講の申込みを完了とします。

尚、一度振り込んだ受講料は返却できませんので、ご注意願います。

領収証は、振り込みを確認後、事務局よりメールにて送信します。

受講についての諸注意

- *eラーニング／Web会議ツールは、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでも受講は可能になります。ライブ配信での受講はグループ討議や発表なども予定しておりますため、マイクが使用できる通信機器、接続機器をご準備ください。
- *講座の録音、録画等は禁止となります。録音や録画を確認した場合、講座の参加をお断りすることがございます。
- *代理出席は認めません。また都合により講師・プログラムの変更があります。
- *コース単位での受講となります。実地研修のみ、コースの一部のみの受講はできません。

研修内容と履修モデル

第一線で活躍
の講師陣

短期集中で
充実した内容

Aコース(総論)

1週目		2週目		3週目		Aコースの最後に実地研修を受講	
10月8日(土) 9:00~12:40 ライブ配信 (任意参加、①②後日録画配信あり)		①②:10月9日(日)(予定)~11月27日(日) ③~⑫:10月7日(金)~11月27日(日) 録画配信		⑬~⑯:11月12日(土)ライブ配信			
9:00 ~9:10	開講式	⑤	総括管理概論(2) 中谷 淳子 (産業医科大学)	⑨	情報管理(2) 土肥 誠太郎 (三井化学)	⑯ 9:00 ~ 10:30	労働環境と健康問題(1) 安全リスクマネジメント(1) 奥村 隆志 (東京労働安全衛生センター)
① 9:10 ~ 10:30	産業看護の歴史と展望(1) 労働衛生行政と関連法規(1) 五十嵐 千代 (東京工科大学)	⑥	倫理の理解と実践(1) 中谷 淳子 (産業医科大学)	⑩	社内部門・外部機関 との連携(2) 鈴木 純子 (大阪産業保健総合 支援センター)	⑯ 10:40 ~ 12:10	安全リスクマネジメント(実地)(2) 奥村 隆志 (東京労働安全衛生センター) 吉川 悅子 (日本赤十字看護大学)
② 10:40 ~ 12:00	産業保健計画の 立て方と評価(2) 五十嵐 千代 (東京工科大学)	⑦	労働安全衛生 マネジメントシステム(2) 梶木 繁之 (産業保健コンサル ティングアルク)	⑪	健康危機管理(2) 吉川 悅子 (日本赤十字看護大学)	⑯ 12:50 ~ 14:20	作業管理概論(1) 人間工学(1) 吉川 徹 (労働安全衛生総合研究所)
③	労働と生活(1) 産業と社会環境(1) 川上 憲人 (東京大学)	⑧	産業保健体制の構築(2) 住徳 松子 (アサヒビール博多工場)	⑫	作業環境管理概論(1) 有害業務と健康障害防止 対策(1) 甲田 茂樹 (労働安全衛生総合研究所)	⑯ 14:30 ~ 16:00	人間工学(実地)(2) 吉川 徹 (労働安全衛生総合研究所)
④	労働災害と補償(1) リスクマネジメント(1) 宮本俊明 (日本製鉄)						

Bコース(各論)

1週目		2週目		Bコースの最後に実地研修を受講	
⑰~⑲:11月4日(金)~12月22日(木)録画配信		⑳~㉑:12月17日(土)ライブ配信			
⑰	作業関連疾患(2) 大橋 力 (東京海上日動)	㉑	健康診断と事後措置(2) 下山 満理 (富士通)	㉑ 9:00 ~ 10:30	職場巡視(実地)(2) 江口 美和 (大分大学)
⑱	健康教育・健康の保持増進対策(2) 千葉 敦子 (青森県立保健大学)	㉑	職場復帰支援(2) 中野 愛子 (日立製作所)	㉑ 10:40 ~ 12:10	職場巡視(実地)(2) 江口 美和 (大分大学)
⑲	労働衛生教育(2) 千葉 敦子 (青森県立保健大学)	㉒	メンタルヘルス対策(2) 高崎 正子 (キオクシア)	㉒ 12:50 ~ 14:20	職場巡視(実地)(2) 江口 美和 (大分大学)
		㉓	快適職場の形成及び 福利厚生施設の衛生管理(1) 巽 あさみ (人間環境大学)		

(凡例)

番号	教科目名(単位数)	専門研修(90分)	実地研修(90分)	<推奨する受講順序> ・Aコース(総論)の後でBコース(各論)を受講する ・①②、⑬⑭、⑮⑯、⑰⑲、⑳㉑は続けて受講する ・実地研修は各コースの最後に受講する
	講師名 (講師所属先)	・講義:録画配信(80分) ・小テスト(10分) ・①②⑬⑭はライブ配信	・⑯⑰⑱⑲⑳㉑ ライブ配信(90分)	
1单位:45分 2単位:90分(原則)				

■基礎研修■

新カリキュラム 受講単位比較表 (2021年度から)

COVID-19関連等で研修申込後受講できなかつた方、一部受講できなかつた方は**振替受講が可能です。**
個別に研修事務局に問い合わせください。

		新カリキュラム (2021年Aコースから)				旧カリキュラム (2020年Bコースまで)			
		Aコース		Bコース		Aコース		Bコース	
		専門 研修	実地 研修	専門 研修	実地 研修	専門 研修	実地 研修	専門 研修	実地 研修
		取得単位数 (変更項目を赤字表示)							
① 産業看護総論	産業看護の歴史と展望	1				1			
	労働衛生行政と関連法規	1				1			
	労働と生活	1				1		1	
	労働災害と補償	1				1			
	リスクマネジメント(健康現象の疫学的捉え方)	1				1			
	産業と社会環境	1				1		1	
② 総括管理	倫理の理解と実践	1				1			
	単位数小計	7				5		2	
	労働安全衛生マネジメントシステム	2				2			
	総括管理概論	2				2			
	産業保健計画の立て方と評価	2				2			
	情報管理	2				2			
③ 健康管理	産業保健体制の構築	2				2			
	社内部門・外部機関との連携	2				2			
	健康危機管理	2				2			
	単位数小計	14				12		2	
	健康診断と事後措置				2			2	
	作業関連疾患				2			2	
④ 管理作業	メンタルヘルス対策				2			2	
	職場復帰支援				2			2	
	健康教育・健康の保持増進対策				2			2	
	単位数小計			10		2		8	
	人間工学	1	2					1	2
	作業管理概論	1						1	
⑤ 管理環境	単位数小計	2	2					2	2
	安全リスクマネジメント	1	2					1	2
	労働環境と健康問題	1						1	
	作業環境管理概論	1						1	
	有害業務 (化学物質・物理的要因・生物学的要因による健康障害防止対策)	1						1	
	快適職場の形成及び福利厚生施設の衛生管理				1			1	
⑥ 生労教育	単位数小計	4	2	1	0	1		4	2
	労働衛生教育				2			2	
	単位数小計			2				2	
	職場巡視					6			6
	単位数小計				6				6
	単位数合計	27	4	13	6	20	0	20	10
A・B合計単数		専門研修 40 実地研修 10				専門研修 40 実地研修 10			

■日本産業衛生学会産業看護講座事務局 (株)オリオン社 担当 村野・中居

E-mail : sangyo-kango@orion-sha.co.jp TEL :03(5272)8631 FAX :03(5272)8633

※ お問い合わせの受付時間 平日10時30分～16時30分 (質問内容をFAX送信後に電話問合せをしてください)